

ワークショップ「防災は、あきらめない力」

日 時：2010年9月5日（日）
午後1時30分～3時30分
会 場：交流ラウンジ

女性には、女性ならではの不安や困難、災害リスクがある。防災・復興を考えるときには、男女共同参画の視点が必要であり、国もその体制確立を進めている。このワークショップでは、男女共同参画センター横浜南が作成した「わたしの防災力ノート」をもとに、自分たちの「防災力」を見直し、「生き残るため」の防災を考える時間を提供した。

講 師／

常光明子（財団法人横浜市男女共同参画推進協会職員）

参加人数／28人（女性 25人、男性 3人）

参加費／500円



ご意見ご感想をいただきました

- ・ 防災と女性といってもピンとこなかったが女性の視点から見た防災という説明を聞いて納得がいった。災害に実際に遭ったことがない自分にとって、具体的に防災について考える機会となったことがよかった。
- ・ 行政からの情報は地域性に欠けるので、ぜひ、身近なコミュニティのつながりを大切にしなければと思いました。
- ・ 普段気づききれていないことがあまりに多くて、それが実はとても恐ろしいことだと再認識し、今後を考えるきっかけとなりました。
- ・ 横浜市でこのような活動がされていたことを初めて知りました。阪神淡路大震災で被災された方で未だに心に負った傷が癒えていない方が多くあると聞いています。このようなことが起こらないため本日の内容を生かしていけたらと思います。



プランなごや 21

目標 4 家庭・地域における男女の自立と共同参画



名古屋市男女平等参画推進センター 指定管理者
NPO法人参画プラネット